

# JCD-KANSAI

Japanese Society of Commercial Space Designers

昭和60年12月  
第7号

## '85商環境フォーラム 成功裡に開催

やゝ天候は悪く、動員が心配されましたが60年 関西支部主催の'85商環境フォーラムが、予定通り開催されました。

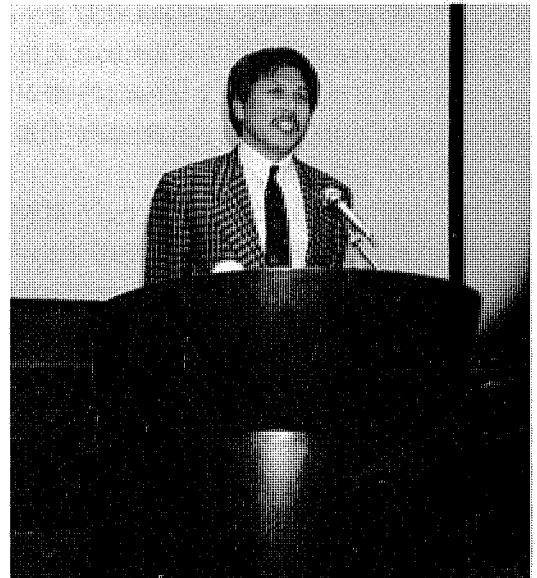
本年は、特に組織委員会が、協会の体質強化が本部理事会で決定した通り、会員増強の推進として、有能な資質を持っている人材の開発と会員としての参加運動を展開して、25名以上の新入会員を迎えることとなりました。毎年地域に密着した、研究開発のイベントとして今年は、年賞に応募し入賞された作品の中から個店でなく、街に関係しそのデザインがコミュニケーションの役割を持ちはじめたという事例で「環境とコミュニケーション」をテーマに、三つの地域開発と商環境のかかわり合い方を探るということになり、実行委員会の推進で、開催当日を迎えました。新入会員や学生等、これから将来この専門職能人として目標設定にいくらかでも実態の理解と認識を揚めるため、タイムリーな企画と考えます。

実行委員長の西脇理事から開催の経過報告につづいて。解説と挨拶があり、友田会員の司会で、3パネリストのスライドとインタビュー等の現地報告を主体的に、オープン時点から今日迄のアフターフォローも含め、シビアな内容と、その企画設計の仕事のとり組み方、オーナーとの接触、プランニングのキー、プレゼントワーク、等を、一つづつ事例の上で、そのプロセスを理解できたと思います。

優秀賞受賞の2点「ポケットアベニュー」と「フードシティ・グリーンベル」共、将来計画の一部として、環境の増殖という意味からも仕事の範疇も拡大され、地域コミュニティスペースの大切さが理解できた内容であった。



▼浜野安宏氏



デザイン大賞の「那覇フェスティバル」は風土にとけ込んだ建築と永年に亘る計画の中から地域生活に必要なMDと店舗構成、ユニークな環境設計は、忘れられていたデザインワークの中で、有形商品の陳列スペースでなく、人々の交るおまつりの広場環境、即ち今迄の店感覚でなくその外のスペースとの関係スペースの間のとり方、一見無駄のようであっても、必要目的に対する予裕のスペースとでも言うか、精神面のスペースを造り出さねばならないというコンセプトに触れることができました。沖縄で一石を投じた、この計画と実施は、浜野安宏氏のプロデュースによるその解説にもありましたように、商環境デザインの概念を変えるもので、そのインパクトは一つの流れの中で受け止めるべきものと考えます。

有意義な三つの事例に引きつづいて野村副委員長、蔭山会員のリードで、受賞者3名の再度に亘るキャラクターのちがいを受けとめる一方、その商環境に対する同一の考え方も納得のゆく形となりました。

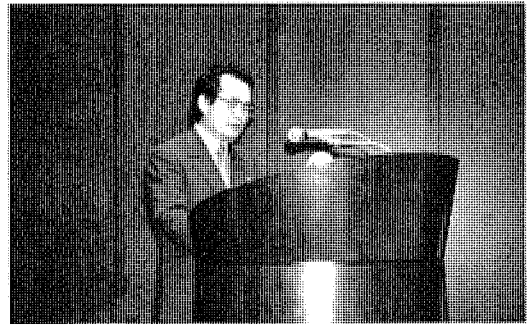
神戸国際会議場に一杯の参加者、熱気あふれる質問も時間の関係から、途中で打ち切るということになり、無事、終了できました。

開催に当り関西支部の会員及賛助会員の皆様には大変ご協力を賜り、成功のお力になっていただいたことを心より御礼申し上げます。

当日ご出席できなかった方々のために老田会員のVTR集録によるVHSタイプ一巻がダビングされて3倍モードで会議全部が記録されています。

是非、会員の方々にご覧賜りますよう関西支部に保管してありますので、ご活用下さい。

貸出しは事務局迄お願いします。来年も更に飛躍した企画で、協会のイメージアップに貢献したいと思えます。



▲ 西協委員長のあいさつ

## ■ フォーラムに参加して

研究開発委員 老田徳廣

我が店舗設計家協会が商環境設計家協会に改名され始めての関西支部デザイン会議が催された。デザイン賞受賞作品発表も商環境設計の名にふさわしく街の中の町造りが目前に広がり個々の店舗設計において空間的概念を忘れ場所的主張が強くなり勝ちな昨今、店は街の一部で有るべきことと、売る場所よりも集まる空間「環境」でなければならぬ表現のゆとりが、三作品共通に扱われたテーマ光・影・風からはっきり知らされた。今回'85商環境フォーラム「環境とコミュニケーション」のテーマにフィットした感が、私だけで無く会場参加者の皆さんにも十分に伝わったと思われまます。我々が造ろうとする環境からは、さまざまな対話・遊び・欲望が生れ、いわばコミュニケーターの仕掛人で有るから心して仕事を行わなくてははいけない。受賞者の一人吉尾氏の言葉の中に「絵を一生懸命書かなあかん。仕事好きになる事や」と、私の大好きな言葉が出た。二百数十人の参加者皆“好き者”の集まりであったことでしょう。若いこれからこの仕掛人になろうと勉強している諸君も大きな話でもっと先の事と思わず頑張ってください。「次は君が作品発表者です！」

 <p>Hakusuissha</p>	<p>INとOUTを光で結ぶ いまグラステリアが新しい</p> <p><b>ビベルドグラス</b></p>	<p><b>AQUA CRAFT</b></p>	<p>株式会社 白水社</p> <p>(06) 252-4501 (03) 669-1221</p>
--	---	--------------------------	--

## '85商環境フォーラムに御協力いただいた

### 会員名

磯貝芳夫	永瀬純治	神戸一生	(株)ロイヤル	(株)大光電機
山田悦央	福井勝英	吉尾浩次	(株)日本シャッター	(株)近畿電機
竹内盛夫	生山高資	植澤俊一		
大平正夫	青 弘	柳瀬伸夫	(株)松下電工	
野井成正	菅原 亮	島村清一	池島從孝	柴田邦彦 西村憲一
山本市治	平井 進	猪多 勉	(株)白水社	
要 信行	水野修士	友田みのり	太田真昭	
大菅満義	嶋原英夫	奥村丑松	(株)日 展	
見崎征之	高田博允	中迫吉央	神原龍二	
亀井克二	菅野哲爾	吉田博之	(株)赤松店舗研究所	
里吉 明	老田徳廣	西口 進	赤松良一	秋山 功 奥野道郎
太田昌宏	和田嘉寿	渦居 茂	久保田博文	白井 進 野村武彦
奥田 猛	伊藤 司	未金隆宏	松井理夫	松井寛一 松本 躍
旭 和雄	沢村善道	高木茂雄	山田常寿	
杉山栄一	山口弘純	辻 宗之	(株)布 谷	
野崎 稔	中村栄蔵	吉田雅昭	秋山正之	大田 貞 大槻富久
馬場敏郎	桃田紀男	玉野上正俊	杉野良治	橋本幸七郎 畑 藤一
山家一千代	井川好長	角田吉高	原田隆夫	原田欣典 東 徹
芝 春治	松田逸郎	林 利洋	福田祥次	藤永 肇
石本倍美	吉岡憲司	藤井清幸	(株)乃村工藝社	
栗井隼一	森田重昭		秋山伸次	市川元則 藤山利夫
			久保 茂	郷川憲治 西垣雅弘
			細田泰彦	宮崎鋪輔

### 商環境フォーラム'85協力会社名簿

(株)ABC商会	(株)三和シャッター	(株)船 場
(株)布谷	(株)乃村工藝社	馬田 勲
(株)日東商会	(株)赤松店舗研究所	笹木秀近
(株)日立製作所	(株)白水社	宮本義久
(株)能美防災工業	(株)遠藤照明	(株)西脇設計
(株)西脇設計	(株)高砂熱学工業	西脇顕正
(株)山際神戸店	(株)小泉産業	長岡 茂
(株)姫路商工会議所	(株)マルヨシインテリア	宮崎信夫
(株)文化シャッター	(株)須賀工業	
(株)DXアンテナ	(株)日展	
(株)船場	(株)ベラミカ商事	
(株)マックス電機	(株)三菱電機	
(株)近藤忠商事	(株)小野田セメント	
(株)ウシオスペックス	(株)リフィア	
(株)サンゲツ	(株)松下電工	
(株)田島応用化学工業	(株)ルノン	

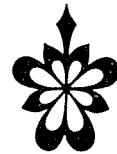
以上の会員の方々に御協力いただきまして有難うございました厚くお礼申し上げます。今回の事業は前にお願ひしました趣旨により全会員に御協力をお願いいたしましたが、以上のような結果になりましたことを御報告申し上げます。今後共関西支部の事業に対して御協力を宜しくお願ひ申し上げる次第でございます。

## ■ 守口駅前再開発地区見学記

㈱松下電工 西村憲一

京阪電鉄守口市駅前に、京阪百貨店、T. L. プラザ、守口プリンスホテル、守口市市民体育館、守口文化センター、富士銀行、ショッピング、宿泊施設、スポーツ、カルチャーなど都市機能として必要施設が巧みに配置され、開発以前の小さな商店街と京阪電車の操作場があるだけという、駅裏的印象を強く持っていた小生の目からすれば驚く程の変貌ぶりである。ショッピング施設としては売場面積 25300㎡を擁する守口駅に隣接する京阪百貨店と、西友ストアをキーテナントとする T. L. プラザがあり、特に「きれいな百貨店」をキャッチフレーズとした。平面 1000 台の収容の駐車場を持つ京阪百貨店一号店は、開業一カ月（十月十二日～十一月十一日）で来店客延べ 125 万人、売上 20 億と当初予想を上回り好調なスタートを切っている。店全体の印象としては、白を基調とした明るく、さわやかな雰囲気、店内の見通しも良く、百貨店らしい百貨店として好感のもてる店づくりがなされている。ライティングはグレアを抑え演色性、無方向性を配慮し、明るさ感を演出する壁面照明、基本照明、照度とバランスのとれた商品照明が行われている。又、T. L. プラザは一足早くオープンし、地元密着型で気軽に買い物が出来るショッピング機能を持ち、互に相乗効果を出している、宿泊機能としての守口プリンスホテルは、客室数 177 室、総宿泊数 293 名の中規模シティホテルではあるが飲食、宴会スペースの他、小型ではあるがプールも備え、落付いたインテリアの客室デザイン、美しい夜景と日中は雄々と流れる淀川の眺望が楽しめるスカイラウンジ、

レストランなど新都市型ホテルとして十分に機能していくことであろう。外に出て広場の中央部各施設を結ぶアポロン橋から地域全体を眺めると、下の方に京阪バスのターミナルとタクシーの発着場、中央広場のカナディアンスクウェア、それを取り囲むかのように立林したビル群、もう少しスペースにゆとりがあったら、もう少しエンターテインメントな設備があったらなどと漠然と思い巡らせていると、いつしか日も暮れ気が付くと夜陰のなかで輝く様々な明りが目を楽しませ、ハイボール灯、外灯に照らし出された。我国でおそらく一番明るいであろう広場は、今後 24 時間機能していく街にふさわしい開放感にあふれた楽しい雰囲気演出している。最後に、この街には T. L. プラザの上に老人マンション（ゆうゆうの里）があり、京阪百貨店の来店客調査によると、平日は守口、門真、寝屋川市の地元が 55%、日祝日は枚方、交野が 19%、大阪市内から 23%、摂津、吹田、八幡市など遠距離地域が 12% を占めるという。今後この街が発展していくには、とりもなおさず、これら地域の老人から子供までの生活意識に支えられて常に新しく生まれ変わり続けることであり、新生活都市づくりが今始まろうとしている。



店舗設備 造作家具 室内装飾 設計施工

株式会社 上谷製作所

大阪市西成区天下茶屋 2 丁目 18 番 33 号

TEL(06)661-7031(代表) FAX(06)661-7033

我国初の大規模商環境の開発

## 「生活遊園地」つかしん

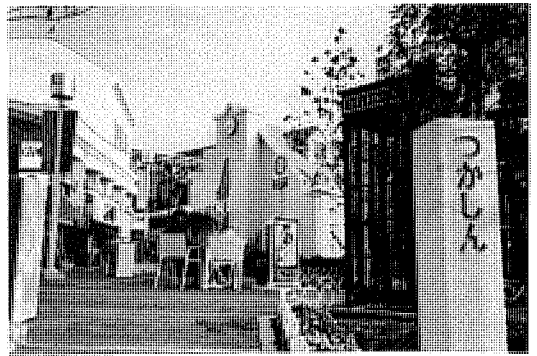
甲子園球場の1.5倍ある、都心から離れ、ターミナルとも縁遠い、兵庫県尼崎市塚口に本年9月27日オープンしました。

会員の皆様は240店舗の専門店と百貨店やその他の環境設計にも多少とも参画されたと思いますが如何ですか？

最終のコンセプトまでの12年間に及ぶ企画の練り直しや、将来をみての環境づくりに我国に今迄モデルもなく、創造してゆくか？デベロッパーの並々ならぬ計画推進のお話しを聞くとその経緯は良く理解できます。

今オープンして20%増の売上を示し、他の大手百貨店の売上ダウンをみない昨今、この商業施設の持つ意味が、最も興味あるところと考えます。

自然を人間の手でとりもどし、緑と風と光をベースに、一級河川の伊丹川を景観とサーキットから、2大ゾーニングの意味づけや、高低の差、借景感覚で夫々のキャラクターを持つ建物、机上論とはいえ、街づくりのつかしん全体のコンセプトから、東西・1・2階のモール、百貨店、生鮮館、手づくり館、ヤングライブ館、ガーデンレストラン、飲みや横



▲つかしんモール入口附近



▲ガーデンレストラン

丁、教会をとりまく公園、等 将来のシテイホテルの計画も含めて、それは塚口の新空間、新環境たるべき意味をこめて、ネーミングも「つかしん」と決定されています。

このネーミングですが、私は今迄にない強いフィーリングと文字からくるヴィジュアルイメージを感じます。第1に平仮名であること、第2に4文字であること、第3に地名が入っていること（略字であるが）です。

他のネーミングにくらべ「つかしん」のそのひびきは愛着性と土着性で人々の心を浮きうきさせる。それでいて、この環境に居ることの幸いのようなものを感じられたらという願望があるでしょう。

開西の土地柄、その人間情緒までをベースに考えた、ネーミングの商環境に共感をおぼえ、来春新芽を吹く樹木と風と光を浴びる商環境こそ、地域に最も優先される基本構想と思います。



▲西武百貨店つかしん店

## ■つかしん

ニットブティック

「ベネウエル」

つかしんモール 2F

設計 オクダ設計研究所

施工 西武百貨店関西建装部  
船場

神戸のニットメーカーであるこの店は、商品内容と、店舗イメージが、マッチングしてないのが、見られた方には解って頂けると思う。色々な事情で、このような店舗造りになったが、ここで説明するのは除せて頂く。間口が広く、奥正面が狭くなっている店舗は、設計者としては、余り歓迎すべき平面でない。その点に注意を配って、平面構成をしたつもりである。ここの商品は、毎シーズン、永年決められた基本色、4～5点に絞られて、流行色に関係なく作られている。特異な、色出しの為、店舗素材も限定される。

・床、什器は、生地仕上、その他、壁、天井はVPのホワイトでまとめ、客層が、40前後の為、照明の一部に、情緒を出した構成であり、没個性的な店である。



## ■京阪百貨店

パーラー

「ピーチセブン」

京阪百貨店 7階 飲食街

大阪府守口市

設計 錦赤松店舗研究所

施工 西武百貨店関西建装部

ヤングマインド商品展開を戦略とする最も新しい百貨店、京阪百貨店がこの秋、守口市にオープンした。

その最上階のレストラン街は物販の販促企画と連動し相乗効果を生む役割を主とした。コミュニティースペース、レストスペースとしても機能し得る空間が求められた。

各種イベント、各種フェアなど企画力の豊かなリーダーSHOPの導入は話題性、情報性に富み、また、営業時間内フルタイムでの集客力向上につながったのではないだろうか。写真はエスカレーターによるアプローチ部分とほぼレストラン街中央に位置する「銀座トリコロール」そして外光を存分に取り込んだパーラー「ピーチセブン」である。



## ■ バリ島を旅して

大菅満義

JCDの東京メンバー5人と、大阪から赤松副理事と私の計7人がこの11月初めに一週間ばかりバリ島に旅して来ました。バリ島はもともと火山島であり、バツール山は今も白煙をあげている。映画「バリハイ」でおなじみのなんとなく神秘的な島です。火山と静かな田園風景、そしてどこまでも青い海、南太平洋に昇る朝日、南インド洋に沈む夕日、バリ島が「最後の楽園」と呼ばれるにふさわしい景観です。バリ島は信仰の非常に厚い島で、仏教とヒンズー教のミックスした信仰で小さい島にお寺が2万ぐらいあり、どこへ行っても寺院がやたらと目につく、日常の生活がすべて信仰によって秩序づけられているようです。滞在中にも古式豊かなお祭りやお葬式にも多く出合った。夜はバリ島の踊りケチャックダンス、バロンダンス等も日本のお神楽のようなもので、すべて神が支配する島といった感じで、信仰心を忘れがちな日本人にとって少し考へさせられた。バリ島の素晴らしさは、限

りなく美しい手つかずの自然、どこに行ってもリゾートという感じ、特にサヌールビーチ、うっ蒼と繁るヤシの林を背にコテージやホテルが並ぶ、又赤い花白い花が年中咲き乱れている。ヤシより高い建物は禁じられており、ヤシの木は切れない法律があり自然を大切にしている。自然が売物の島としては当然だろう。島南端のクヌビーチは世界のサーファーが注目しているビーチで沖から大きなうねりを見せており、日本のヤングのサーファーもたくさんおりました。島一番の街デンパサルでは朝市と夜市が毎日開かれており、ものすごい活気にあふれていた。中心部にはショッピングセンターが建てられており、いづこも同じ感じでした。道路には日本製のトヨタやホンダの車やオートバイが走り廻っており、残された自然の中の車の洪水が何か現代を象徴するような矛盾したコントラストを感じさせられた。

このスケッチは、バリ島どこへ行っても目につくゲートで、本来はお寺の門であったが今はあらゆるゲートに使われている。これは、ハナダラゴルフ場入口のゲートです。





## ■ 北京を歩いて

旭 和雄

ぶらり散歩していると、古い歴史のしみついた胡同があり、歴史と共に生い茂った並木道がある。……互心に眺めているつもりが、いつの間にか歴史の時間の中にたゆんでいる。タイム・マシンの町でもある。

「旅人の目で見ても、世界で最も魅力的な都市が3つある。サンフランシスコ、パリ、北京、友達は信じられない、どうして北京が、魅力的か？」共産主義下に魅力的な町などあるはずがないと信じていた彼に町の魅力を説くのは、かなり厄介な事であった。指を折って説明すると

1. 景色がいい。
2. 食物がうまい。
3. 歴史がある。
4. 設備やサービスがよい。
5. 清潔で、治安がよく、人間が正直で、旅人だからと云って、ごまかさない。

むしろ誠意をこめて奉仕してくれる一。

吾々まわりには、こうした条件が欠ける町が多いからである。

北京では、歴史は化石化したり、形骸化している。数千年の歴史が現在、凝縮され、いまなお新しい未来へと生き続けている。つややかな歴史の町、北京、ことにその街の中央に位置する“故宮”、東西700メートル南北1,000メートル、建築物700余、部屋数9,000余、所蔵品100万余点に及ぶ“紫禁城”、

その見学には ツオウマカンホワ 走馬看花(大雑把に見える)で3日間かかる。シアマカンホワ 下馬看花(じっくり見る)だったら、いったい何日かかるのだろうか、吾々はこれを2時間位の間に素通りした。

南の午門から北の神武門まで東西の中心線上に並び、大和門、大和殿、中和殿、保安殿さらに乾清門を経て乾清殿、交泰殿、坤寧殿と続く、

内廷の東西には、後宮などが配置され壮大かつ緻密な宮殿群には誰しも驚きを禁じえないだろう。

北京ではもう一ヶ所、ぜひ行って見たい所があった。時間がなく残念だった。

その行きたい所は、故宮の南西に位置する。骨董古玩文具国宝を扱う店が軒をつらねてい

る街 リュウリチヤンガイ 琉璃廠街 エイホウサイ 榮宝齋

いわば古来からの人墨宮の故郷でもある。キッシンジャーも立寄ったとか、

この街はもともと海王村と云い、五代には村を形成していたという。元代にはすでに瓦を焼き始め、明代には宮殿用の琉璃瓦を、焼く廠ができ、現在の街の名もこれに由来している。北京の街に懐しさを覚える。

こうした街の片隅、街の横丁の路地にゆっくり佇む時がもっと慾かった。

40年前に北京を訪れた時と、こんどの訪問を通じた北京はしみじみと心にかよう街でした。まだまだ機会を見つけて、この街、あの街に旅したいと思って居ります。

尚この旅行ツアーは

ことし9月、イギリスの客船1万屯コーラルプリンセス号 高級船員はイギリス人 下級乗組員は香港人、神戸港から出帆して大連・天津・北京と廻り10間、ゆっくりの旅で最初の夜、瀬戸内海にて船長歓迎カクテルパーティーに始まり、最後の夜 船長主催の“さよならパーティ”、まで食事は朝食、和洋食、昼食、夕食は(和、洋、中華)オードブルから始まる毎日のフルコース、丸テーブルに、客8名にサービスボーイ2名 フィリッピン人のエンターテナー3人とバンド8名が乗って居り毎晩の様に夜中2、3時までのダンスパーティ 続き小さなデパート(デイリークリーショップ)があり午後3時からOPEN 女性客は目を見開き、ガラガラさせながら毎日の様にショッピング NO TAX 酒も煙草も半額、神戸港を出るとギャンブル公開、

500人収容の映画館があり、日本の寅さんシリーズ毎日の上映、中国のオリエンテーション、中国語の促成教育、550名乗客定員にタッタ150名 BARも5ヶ所夕方からOPEN 至れりつくせり、本当に楽しい旅でした。来年の春、この船は香港行きを計画して戻るようです。

## '86 JCD

NATIONAL  
CONVENTION  
IN OKAYAMA

昭和61年度 定期総会  
(社)日本商環境設計家協会  
1月25日(土) ▶ 26日(日)



念願の会名変更も終り新会員も増加して益々新体質のもとに新しい協会のステップが踏み出されました。東京で特別に開催された本年の総会から一ヶ年近くになり、本部にて来年度定期総会開催計画が検討され、ここにお知らせするよう、来年1月25・26日に、岡山で開催が決定いたしました。

関西支部では東京総会にもまして、中国支部のホスト役にも応えるため、全員参加の予定で今から皆様方のスケジュールの調整をお願いします。

年に一度全国から参集される会員の方々と又本年度入会された新入会員のメンバーと日頃疎遠の会員同志も、これからのJCDを語らう大切な機会と存じます。特に京阪神からは至近距離にある岡山は、その地方独得の文化を持つ魅力ある街です。

総会の翌日は「備前のふるさとめぐり」に

有意義なツアープランが予定されています。

今商業施設もポストモダンの流れから次の型を求めて、問題を抱えつつ、一つの光を見出したい気持でしょう。日頃商業施設そのものに携わっている皆様方も、この総会に出席し、国宝や焼物の造形に触れ、海の幸を味わって、備前文化に触れることの有意義なツアーになることを願っています。

関東から九州までの中央に位置する岡山、又一味違った定期総会になりそうな期待感と皆様方が参加するエネルギーで大成功を納めるよう願っています。

来年1月25・26日は岡山に集ろう!!

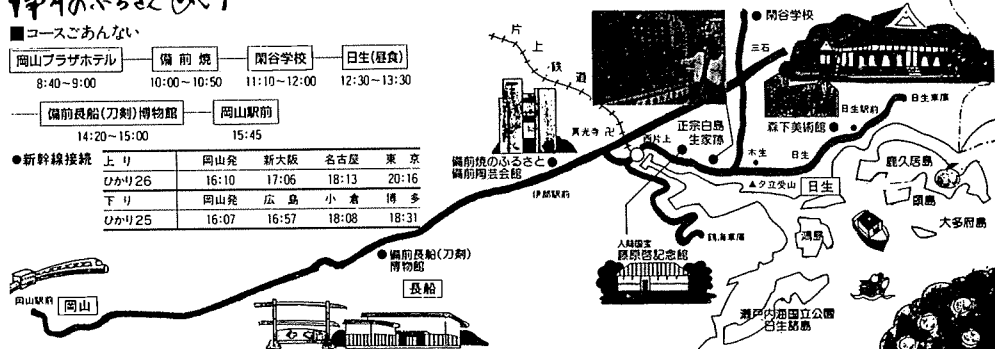
### 備前のふるさとめぐり

■コースごあんない

岡山プラザホテル	備前焼	関谷学校	日生(昼食)
8:40~9:00	10:00~10:50	11:10~12:00	12:30~13:30

備前長船(刀刻)博物館	岡山駅前
14:20~15:00	15:45

●新幹線接続	上り	岡山発	新大阪	名古屋	東京
	ひかり26	16:10	17:06	18:13	20:16
	下り	岡山発	広島	小倉	博多
	ひかり25	16:07	16:57	18:08	18:31



## ■ 第49回 J・C・D ゴルフコンペ

恒例の J・C・D ゴルフコンペが 11 月 15 日、晩秋の大和平野、斑鳩の里に広がる名門、法隆寺カントリー倶楽部に 16 名の精鋭が参加し、開催されました。今回は、昭和 60 年度のグラランドマンズリーを併せての大会とあって、和気あいあいの中にも舌戦が乱れ飛ぶにぎやかなラウンドとなりました。強い北西の季節風に悩まされスコアを乱すプレイヤーが続出するなかで頑張った人は以下の各氏でした。

●月例	スコア (Net)
優勝 売間克也 (遠藤照明)	68
2 位 菅野哲爾 (ティーエスデザイン)	70
3 位 山本正孝 (マックス電機)	70
●グラランドマンズリー	スコア (Net)
優勝 菅野哲爾 (ティーエスデザイン)	74
2 位 蔭山利夫 (乃村工藝社)	84
3 位 片岡正範 (大光電機)	86

おめでとうございます。

〔次回開催予定〕

1. 日時 昭和 61 年 1 月 10 日 (金)
2. 場所 泉ヶ丘カントリークラブ

尚、次回は第 50 回目の記念大会として、特別企画も予定されるとのことです。

## ■ ゴルフ雑感

スポーツの中でその横綱は「ゴルフ」と「魚釣り」だろうと思います。今や、大衆化されたゴルフは、人を健康に、生活の潤いを持たらし、豊かな人間関係を生む最大のもの

と思います。

しかし日本人のゴルフも世界に通ずるかと思えば、まだまだでしょう。

青木の昨年の優勝は我々も驚いたが、今年は、全く芽が出ない。替りに、日本でのビッグタイトルを取った中島には、多くのファンがギャラリーと共に応援したものの、今国際的にも実力を持っているのは、彼ぐらいであろうか？

技術的にはすべて同等、自分自身に負ければ、数をタタキ、それを技術面のセイにする人がいるが、プロは、そうでないと思います。

スキー、相撲、マラソン、等一人で闘うスポーツは、結論的には、自分との闘いです。しかし我々はアマチュアです。肩のこらないそして紳士的にもっとリラックス気分でゲームに参加し、他人と楽しむゴルフに専念すべきです。JCD も、実に楽しいゴルフコンペを開催しています。多くの人たちのご参加を歓迎しております。

## 編集後記

JCD-KANSAI も創刊してはや 2 年が経ち 7 号を刊行することができました。これも皆様のご協力のたまものと感謝しております。今後情報委員会全員が一丸となってよりよい充実した情報誌をつづけていけるよう挑戦していきたいと思っております。ご期待下さい。(E・Y)

複合商業施設・企画・設計・監理

専門店舗企画・設計・施工・監理

スペース&セールスプロモーション

# 求む！新 SSP 型デザイナーたち。



(東京支店)  
東京都品川区西五反田 7 丁目 22-17  
電話 代表 (03) 494-2636

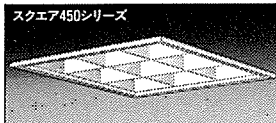
(本 社)  
大阪市東区今橋 1 丁目 2 番地  
電話 大代表 (06) 203-2931

(福岡営業所)  
福岡市博多区博多駅前 2 丁目 12 番 7 号  
電話 (092) 473-6381

●イチケン SP 事業部芝オオフィス  
東京都港区芝 5 丁目 16 番 4 号  
TEL (03) 798-5671

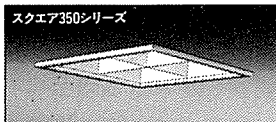
 **第一建設工業株式会社** (店舗建設事業本部)

6H ¥ 26,200  
00000000

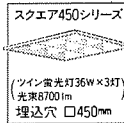


スクエア450シリーズ

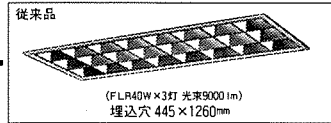
6L ¥ 20,000  
00000000



スクエア350シリーズ



スクエア450シリーズ  
(ツイン蛍光灯36W×3灯)  
光束8700lm  
埋込穴 □450mm



従来品  
(FLR40W×3灯 光束9000lm)  
埋込穴 445×1260mm

店舗用照明器具

## スクエア450・350シリーズ

(ツイン蛍光灯採用)

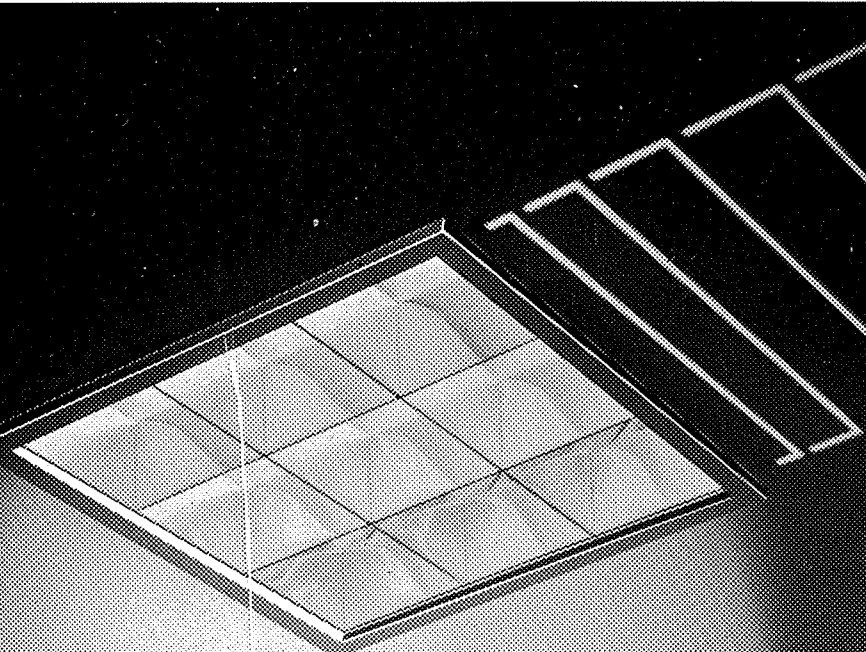
●ツイン 蛍光灯 28W×2灯の350シリーズもあります。蛍光灯ダウンライトとして店舗のベース照明にお勧めします。

コンパクトでハイパワー、演色性にすぐれた新しい光源のツイン蛍光灯を使ったスクエアシリーズの誕生です。写真の450シリーズ(ツイン 蛍光灯 36W×3灯)は、40W直管蛍光灯3灯用とほぼ同光束で、器具サイズは約1/3(当社従来品比)。正方形ですから、店舗空間に方向性をつくらず、スッキリとした構成が可能です。

器具サイズ1/3。  
店舗空間に新

形は正方形。  
表情をうつります。

●面取加工のスクエア450・350シリーズは、大阪府門真市西野1-10-4の松下電工株式会社大阪支店にてお問い合わせください。



新光源ツイン蛍光灯を採用。